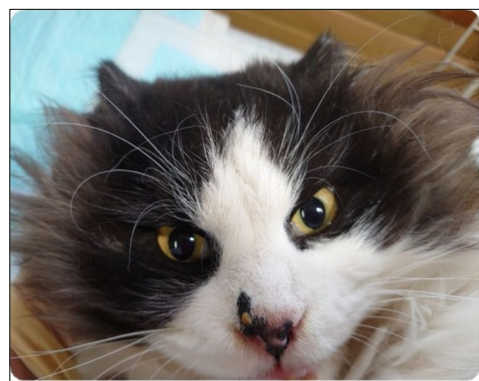


みなしご通信



NO! ペットショップ・繁殖屋

ペットショップや繁殖屋から猫を購入して捨てるヤツのせいで、野良猫たちが困っています！ペットショップや繁殖屋で売っている猫は昔から日本にいる雑種猫ではなく、毛が長かったり耳が垂れていたりと、模様が派手だったり、見た目が《普通じゃありません》それが10年以上不妊手術もしないで生まれては死に：を繰り返している猫多頭飼養をしている現場に行くと《必ず》ペットショップや繁殖屋で売られているような、目が青く毛色の薄い子やシェードットのシャム系やクラシックタビーのアメシヨール系の毛の長い子がいるんですよ！それはどうゆゑのことか？近親交配で生まれる、と言うことです。



このことは現実をよく知る愛護ボランティアの中では周知の事実で私なんかもそくゆく猫を見ると『体が弱いんだろうな』とか『ほかに異常が出ないかな』とかものすごく心配をします。ただ、いまだに愛護活動をしている人の中にもそくゆく子を見ると「洋猫みたいですぐに譲渡先が決まる」とか言って喜ぶ人がいたりしてね。困った世界なので。左の子は長毛でかわい

活には向きません。右の写真の子はアメリカンカールみたいで耳が外側に反り返っています。これもスコティッシュと同じように骨の異常です。触ってみると手足の関節も腫れていました。24時間常に慢性的な痛みがあると言うことです。同じ姉妹は見てわ



らしいのですが耳と鼻の穴が小さく首回りや脇や股あたりにも毛玉がガツツリついていました。毛玉むぐれだと言ってもこんな寒い時期にバリカンするわけにもいかず取れそうな毛玉を取ってあげる事しか私にはできませんでした。ブラッシングが必要な長毛種は野良生活には向きません。

かるぐらい足の骨が曲がっていました。骨は痛いしうまく歩かれんし、かわいそうでなりません！これはすべてわれわれ《人間のせい》こくなることがわかっていながらまさに繁殖させている繁殖屋・増殖屋のせい。それを《うれげに》お金を出して買う人間のせい。そして買う人を止めきれない私たち動物愛護活動家の力不足のせい。そんなこんなを考えていくと不幸を呼ぶだけの繁殖は今以上に厳しく法律で規制するしかないのかも知れませんが、その前に《とにかく》ペットショップや繁殖屋から犬や猫を買おうとする友人・知人がいたら止めてください！ペットショップや繁殖屋は《売れるから産ませる》《儲かるから産ませる》のです。ヤツらは《売れなければ商売をやめます》みんな《非買運動》をしましょう！

もうひとつ進んだ話をすれば、繁殖屋から繁殖ができなくなった犬猫を引き取る行為は中途半端に繁殖屋をラクにさせてしまうだけ！その行為によって新たな繁殖犬猫を増やすことにつながり、事態は愛護からかけ離れた方向に向かうだけなのです。

法改正に一言

私は温暖な瀬戸内・広島の子。寒い1月は室内の活動にいそむべきと言うことで、たちまち（とりあえず）猫舎の猫こたつの改良レッツゴ！なんだか今年の冬は寒いみたいだしうちの猫たちはみんな仲良しだから、ひとつひとつの猫こたつを合体させさらに大きさを倍にして巨大猫こたつを作ってみました。

長い方は10m以上になりました。ひとつの大きなこたつに体温38・5度の猫が数百匹集まるとそれだけで暖かいでしょう。もちろん床はオンドル式床暖房だし。30分もしないうちにワオ！結構な数の子が入ってくれていました♪気をよくした私は2Fも改



良しました。2Fは猫棚がある分狭いので細長いのを作りました。細いけど10m以上ありますよん♪《昔から変わらず》偉い人たちは「猫は単独で行動する」とか「猫は群れない」とか同じセリフを繰り返していますけど、うちの子たちは実に仲良しで普通に複数で生きています。

動物の福祉の観点から去年改正された動物愛護と管理の法律では、人間1人に対して何匹まで、1匹の犬猫に対して何mのスペースが必須…とすべて《数字で決められ》ました。この法案はもともとペットショップや繁殖屋など儲けるため

に犬猫を産ませて販売している動物取扱業1種だけを対象としたものでしたが、動物の愛護をうたう動物愛護団体の保護施設も劣悪な環境のところがいっぱいあるじゃないか！という意見から私たち動物取扱業2種もこれに含まれるようになりました。

これに対して真つ向から反論すると、命は数字じゃ決めれんし数字で命は表されんと私は思うのです。だってね、1匹しか飼ってなくても庭の突先につなぎっぱにして焦げた鍋で苔むした雨水を飲ませたり、太陽もあたらぬような不衛生な部屋で安価なフードを食べさせたりして犬や猫を不幸にしとる飼い主はどこにでもおるじゃろ？それに比べてたらうちなんて何百匹もおるけど動物たちが暮らしてるとる全てのエリアは太陽サンサンで常に清潔な環境で消化吸収のいい良質な食べ物も与えとるよ！おまけに美味いおやつも日常。このブログの写真や動画を見て

よ！ピンポイントの《キレイな場所だけ写真》はなるだけ使わんようにして広範囲に撮った自然な写真をいっぱい載せとるよ！今の環境大臣さまはあたかも《動物たちのため》みたいな空気をかもし出して「動物福祉」「動物福祉」と言うところですが、一体あんたは何を見たんや？何を知ってるんや？とことの本質を聞いてみたい。

私は犬・猫の複数飼養は26年も前からやっていてその間にええ事も悪い事もものすごい経験をさせてもろくて、ものすごい勉強したよ。もちろん今も勉強中じゃけどね。

快足のカンジ

室内イノシシのカンジ。屋外で走ると「なんじゃあおの生き物は！」とティアラ一家が沸きます(笑) けど、カンジが止まるとティアラ一家はカンジのことが怖いみたいでちよつとだけ距離を取ります(笑) オモシロい関係です。カンジは《カ



ンジ街道」と言う独自のルートを必ず走るんだけど、さすが四本足！早すぎて写真に撮れません…山の中でこんな生き物に出会ったらバスターアウト！二本しか足がない人間には最初から勝ち目はありません！けどうちのカンジは人に馴れまくっていて超カワイイ♪「行くよ！」と言えば外に行くし「帰るよ！」と言えれば家に帰るし。家に帰るとりんごを2つ食べて、1分以内には絶対に寝るし…育てるのにラクちゃん以上のラクちゃんです♪

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JANGIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。